

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-166	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コ I 354	JOYFUL English Communication I		

1、編修の趣旨及び留意点

本書は「高等学校学習指導要領」に基づき、「コミュニケーション英語 I」の教科書として編集した。編集にあたっては次の諸点に留意した。指導要領の目標にある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ために、さまざまな活動場面を取り入れ、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う」ために、積極的に英語を活用する場面を取り入れた。なお、中学校学習内容を踏まえて、高校入門期の理解をすすめるために、言語材料及び教科内容について難易度に配慮した。

2、編修の基本方針

編集にあたっては、以下の項目を基本方針と位置づけた。

- (1) 高校1年生が楽しく英語を学び、理解し、積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度を身に付け、その能力を高めることができること。
- (2) 生徒の日常的な生活や関心に配慮しながら、現代日本と世界が直面する様々な課題に応じて新しい教材を発掘・作成し、多面的な角度から検討・精選すること。
- (3) 国際化の進展に対応し、新しい時代の要求に合わせ、ヒューマンイズムの観点にたった異文化の吸収と、生徒の側からの発信の両面を配慮すること。
- (4) イラスト・写真などビジュアルな要素を大胆に取り入れ、教科書全体の美的イメージにも配慮した。

3、対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	世界各地の若者が同じような願いを持って生活していること、積極的に生きていることを学び、豊かな情操を身につける。	Lesson 1 18頁3行目 ～18頁7行目 他
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと	社会で困難な状況にある人々に心を寄せるとともに、具体的に日常の行動として取り組めるような手立てを学ぶ。	Lesson 5 54頁2行目 ～54頁5行目 他
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと	若者が自らの困難な境遇を乗り越え、具体的な実行を通して自己尊重感と社会への貢献の意識を持てるようにする。	Lesson 8 88頁1行目 ～88頁6行目 他
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	自然の驚異と偉大さを動物の生活から学び、自然との共生のあり方を考える。自然と共生する生活の在り方を学ぶ。	Lesson 6 62頁1行目 ～62頁12行目
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	東日本大震災の体験を踏まえて自らの故郷に心を寄せながら日本や世界の中でスポーツを通して平和を求めている姿に学ぶ。	Lesson 9 98頁1行目 ～98頁6行目 他

4、上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 中学校の基礎としてローマ字や英語の発音やリズムへの理解、英文の構成、辞書の活用などを Warm Up として冒頭に取り上げた。
2. 英語で英語の授業に慣れるために各 Lesson に「Activity」を配置し、英語を積極的に使うことに配慮した。また設問などを基本的に英語で行えるようにした。
3. 学習指導要領の言語材料がどこで扱われているのかを見やすくするために、目次の各 Lesson に言語材料の項目を書き込んだ。

別紙様式9

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-166	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コ I 354	JOYFUL English Communication I		

1、編修上特に意を用いた点や特色

総則において「生きる力」の育成や知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること等が位置づけられ、外国語においては4技能のバランスをとりながら積極的にコミュニケーションを図る態度を養うことが求められた。「コミュニケーション英語 I」においては、中学校における基礎を踏まえ発展的な学習が求められており、Warm up において中学校英語の基礎を振り返るとともに言語材料で指定された文法事項を盛り込み、英語を積極的に使うために各 Lesson に Activity 等を配置している。また教材内容を精選して思考力や判断力、表現力につなげるように工夫した。

2、対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<p>まず教材内容を世界各地から取り上げるとともに、同世代を積極的に登場させ、文化の多様性や障がいについての理解を深め、それらの題材をもとに積極的にコミュニケーションを図る活動をすすめる。</p>	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、情報や考え等を的確に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p>	<p>Lesson 1 の 16 頁1行目 ～1頁9行目 Lesson 7 の 80 頁1行目～ 80 頁9 行目</p>	<p>15</p>
<p>Get Ready において英語を聞くことや話すことを導入し、Let's Read によって本文の理解をより深いものとし、Your Turn によって「書くこと」や「話すこと」へと発展させる。なお Listen and Sum up によって「聞くこと」も取り上げる。</p>	<p>生徒が情報や考え等を理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、様々な言語活動を行う。</p>	<p>各 Lesson</p>	<p>15</p>
<p>全体的に話したり書いたりする言語活動を取り入れているが、特に他国の生活を通じて学んだことをもとに表現することをすすめている。また英語の世界で共通に歌われている歌をとりあげているのもその一つである。</p>	<p>中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れる。</p>	<p>Lesson7 44 頁1行目～ 46 頁5 行目 他</p>	<p>15</p>
<p>各課において Grammar を配置し、中学校で学んだ文法や語法などを簡潔に整理し、易から難を配慮して展開した。なお Warm up において英語と日本語の橋渡しをする項目を提示した。</p>	<p>生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るよう配慮する。</p>	<p>各 Lesson</p>	<p>25</p>
<p>中学校の復習を兼ねて Warm Up を6項目設定し、基礎的な理解を確認するとともに Lesson1～Lesson3は 50 語、Lesson4～Lesson7 は 80 語、Lesson8～Lesson10 は 100 語を基本として配置して、徐々に英語に慣れるようにした。</p>	<p>「コミュニケーション英語 I」における学習への円滑な接続を行なうために、各課の進行に伴って語彙数や語法などの難易さに配慮する。</p>	<p>各 Lesson 及び頁 124～ 132</p>	<p>23</p>
<p>計</p>			<p>93</p>

別紙様式10

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-166	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コ I 354	JOYFUL English Communication I		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
12	For Reading として文学とスピーチを取り上げ、音読や暗唱につなげることを目的とした。	1	第 2 章第 3 節「コミュニケーション英語 II」2 内容イ『説明、評論、物語、随筆等について速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う』

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 1 2)